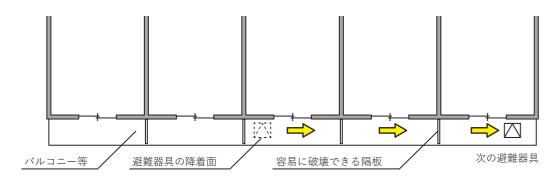
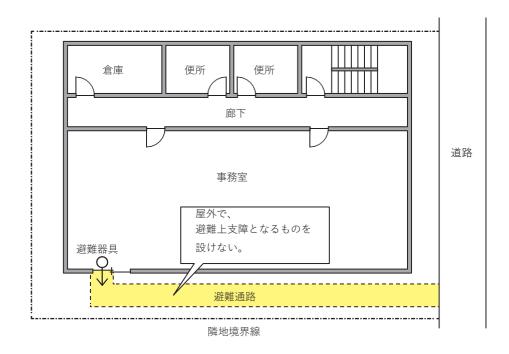


(望ましくない例)

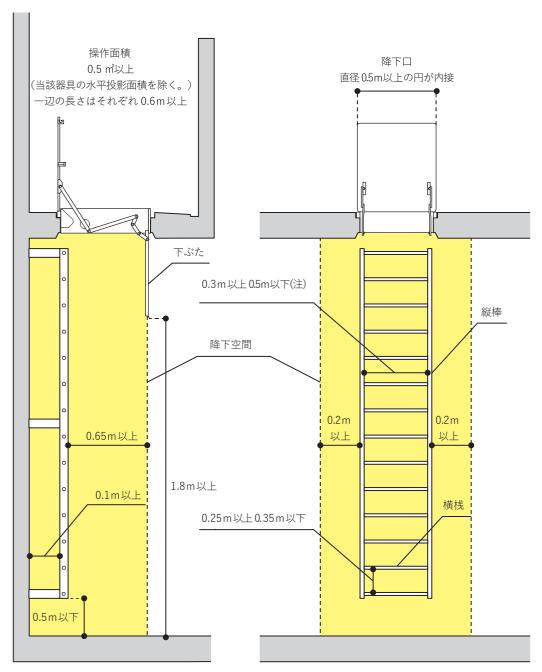


第 15-18 図



第 15-19 図

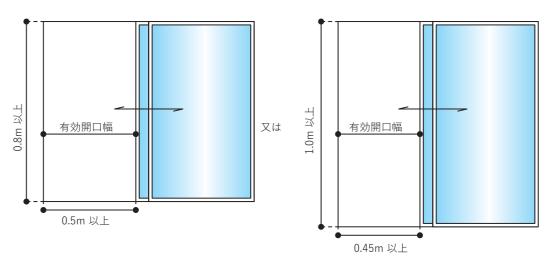
(固定はしごの設置例)



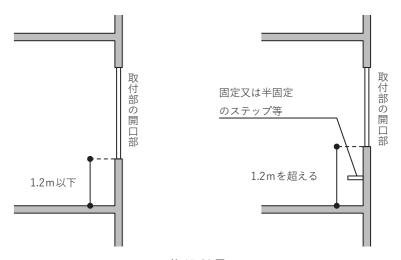
- (注)金属製避難はしごの技術上の規格を定める省令(昭和40年自治省令第3号)第3条関係
- 〇避難はしごのうち、縦棒の数が 2 本以上であるものの縦棒の間隔は、内法寸法で 0.3 m以上 0.5 m以下でなければならない。
- ○避難はしごの横桟は、直径 14 mm以上 35 mm以下の円形の断面を有するもの又はこれと同等の握り太さの他の形状の断面を有するものでなければならない。
- ○避難はしごの横桟は、縦棒に同一間隔に取り付けられたものであり、かつ、当該間隔は、 0.25m以上 0.35m以下でなければならない。
- ○避難はしごの横桟の踏面は、滑り止めの措置を講じたものでなければならない。

第 15-20 図

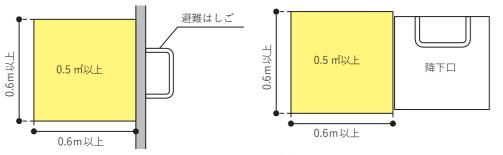
(取付部の開口部の大きさ)



第 15-21 図

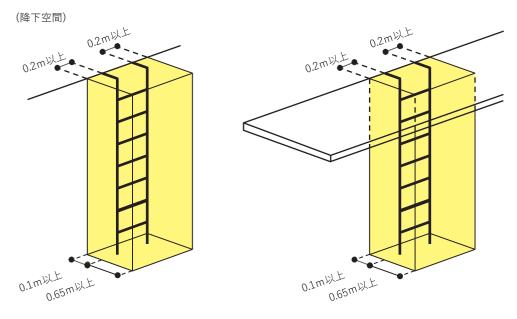


第 15-22 図

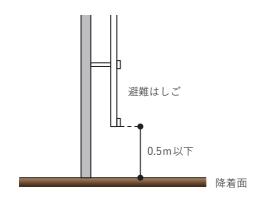


(注)避難はしごの操作に支障がない位置に設ける。

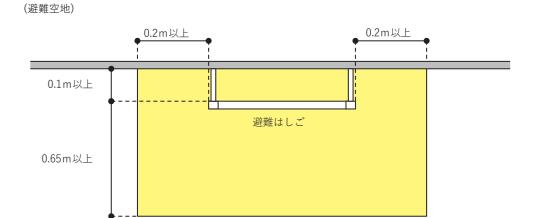
第 15-23 図



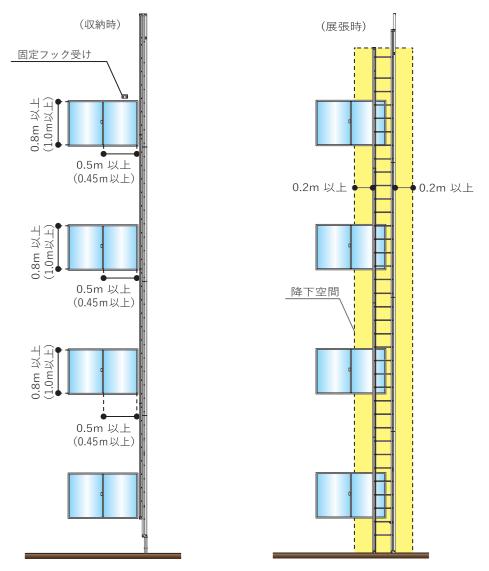
第 15-24 図



第 15-25 図



第 15-26 図



第 15-27 図

操作面積

0.5 ㎡以上 一辺の長さ 0.6m以上

0.1m以上

突子

(つり下げ式の避難はしごの設置例) 取付部のの開口部 2m以上 (1m以上) 1.2m以下 又は ステップ等 架空電線 1.2m以上

降下空間

0.2 m

以上

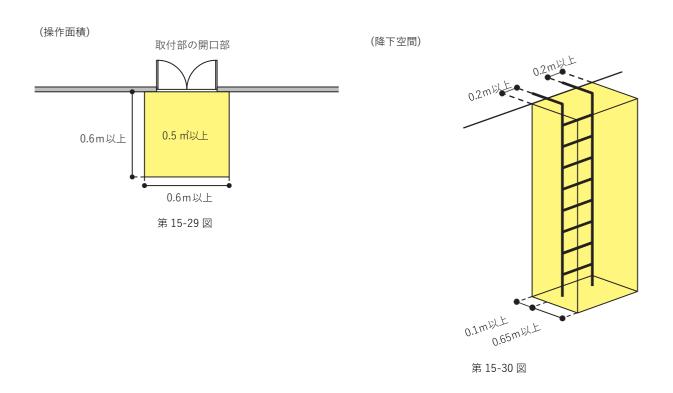
0.2m

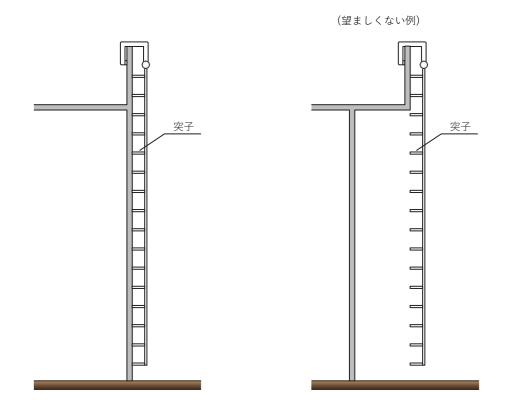
以上

0.65m以上

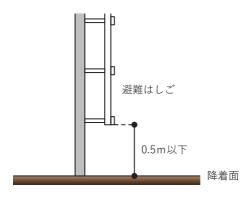
第 15-28 図

0.5m 以下

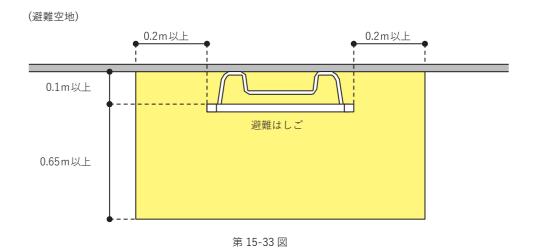




第 15-31 図



第 15-32 図

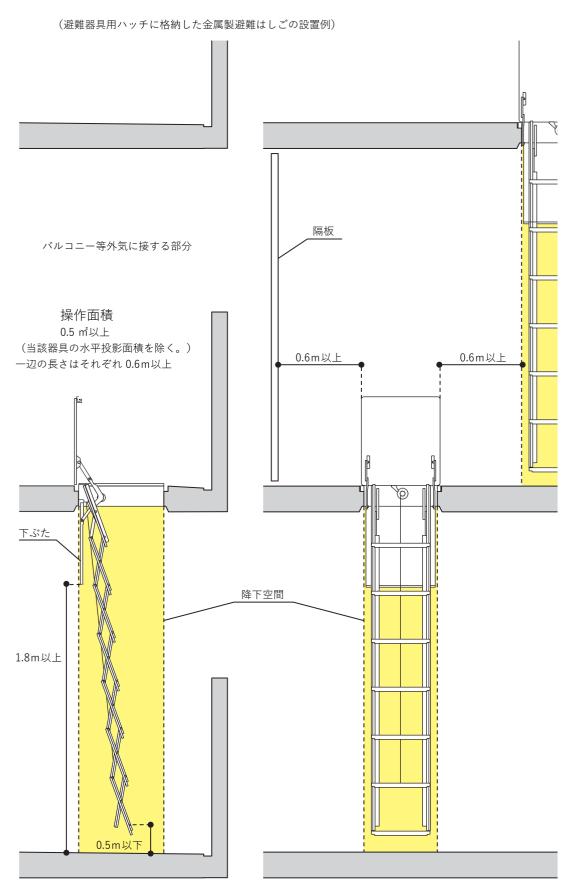


勝地境界線
避難通路
避難空地の最大幅員
(1 mをおえる + の)

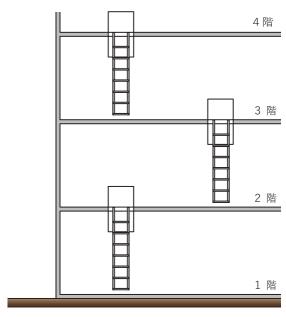
避難空地の最大幅員 (1mを超えるもの にあっては、1mと すること。)以上 事務室 道路

第 15-34 図

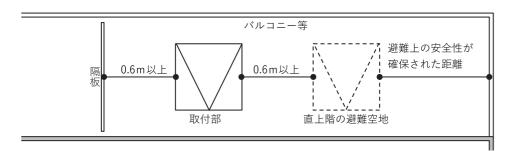
隣地境界線



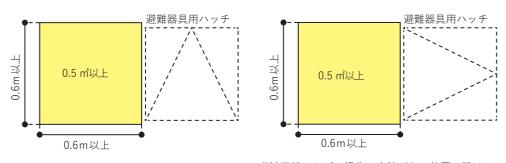
第 15-35 図



第 15-36 図

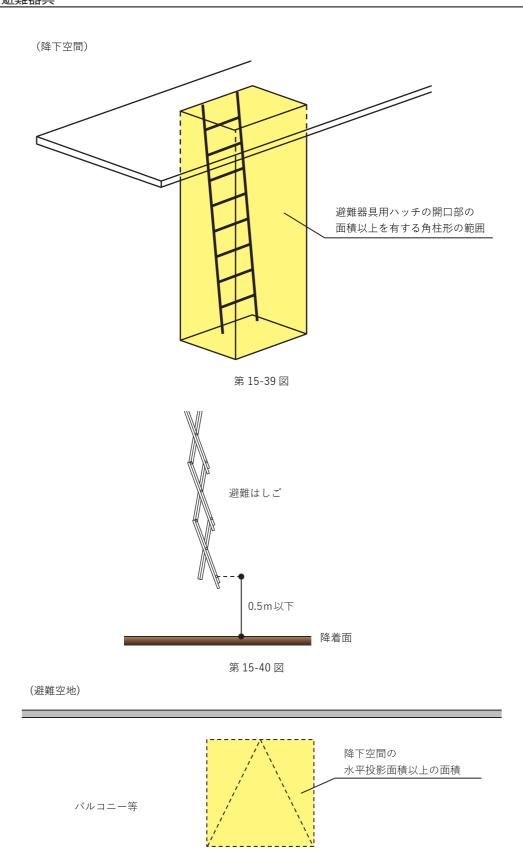


第 15-37 図

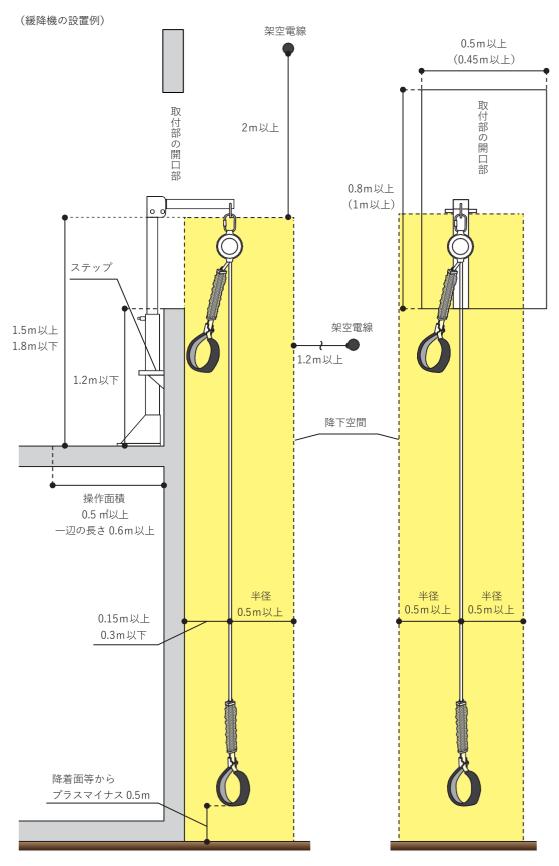


(注)避難はしごの操作に支障がない位置に設ける。

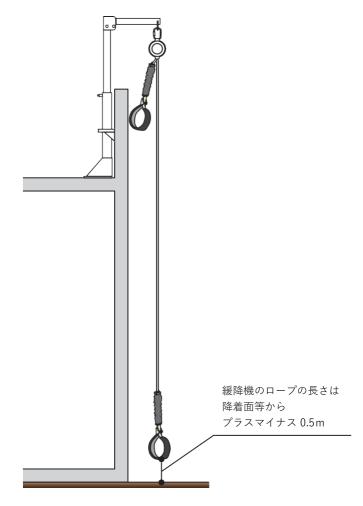
第 15-38 図



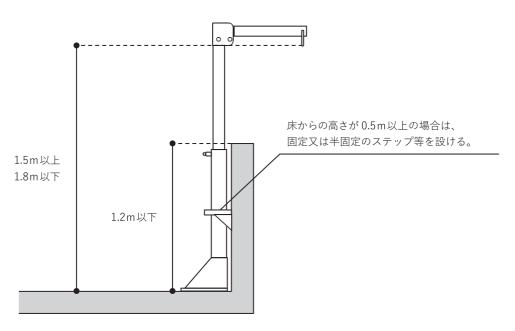
第 15-41 図



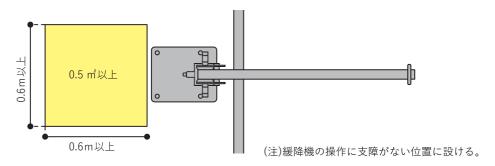
第 15-42 図



第 15-43 図

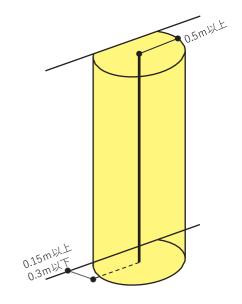


第 15-44 図



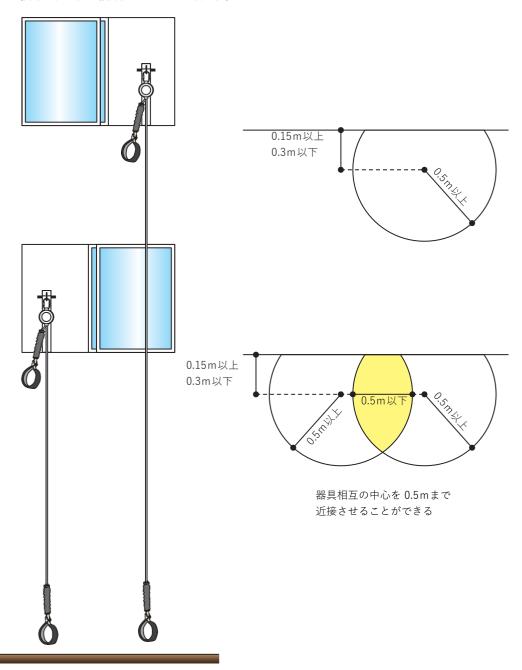
第 15-45 図

(降下空間)

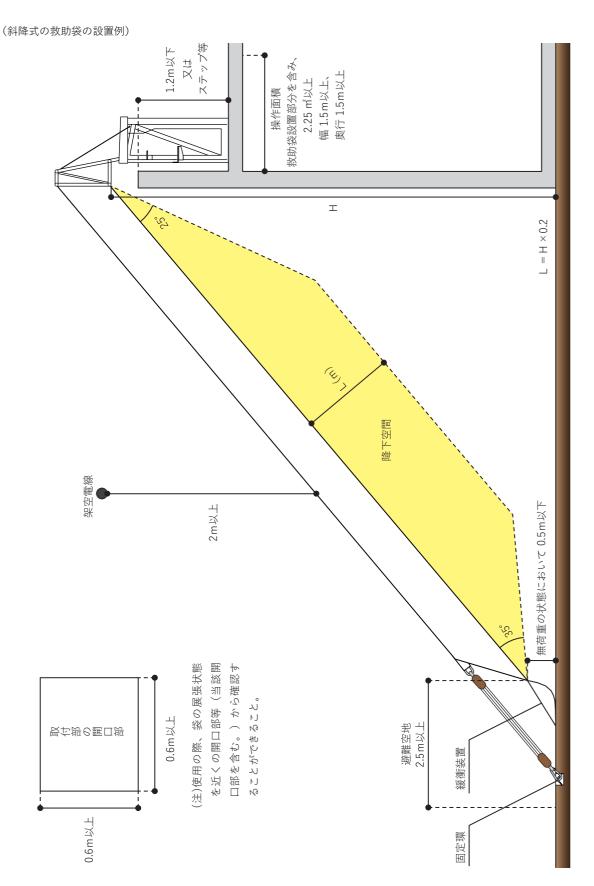


第 15-46 図

(降下空間を他の緩降機と共用する場合の例)

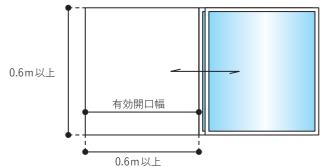


第 15-47 図



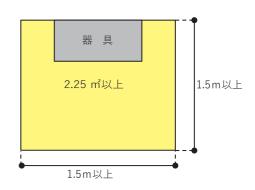
第 15-48 図

(取付部の開口部の大きさ)

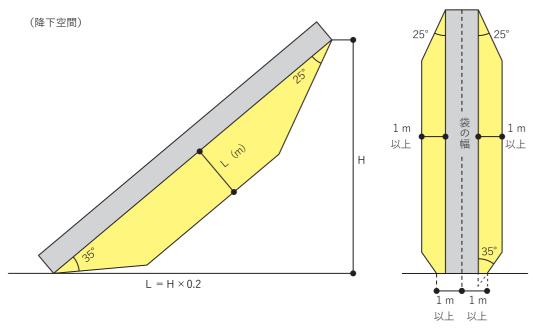


(注)使用の際、袋の展張状態を 近くの開口部等(当該開口 部を含む。)から確認する ことができること。

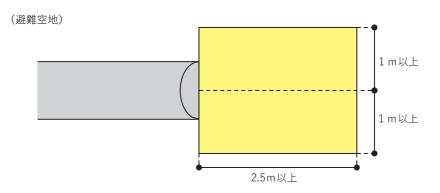
第 15-49 図



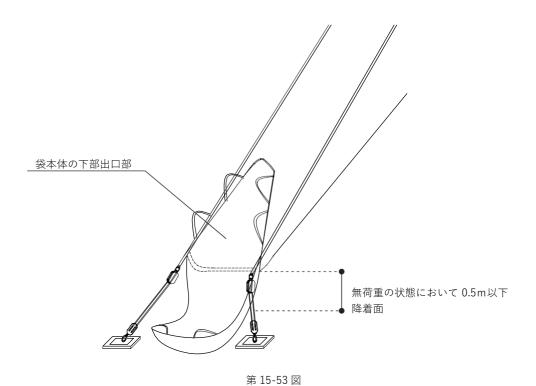
第 15-50 図



第 15-51 図

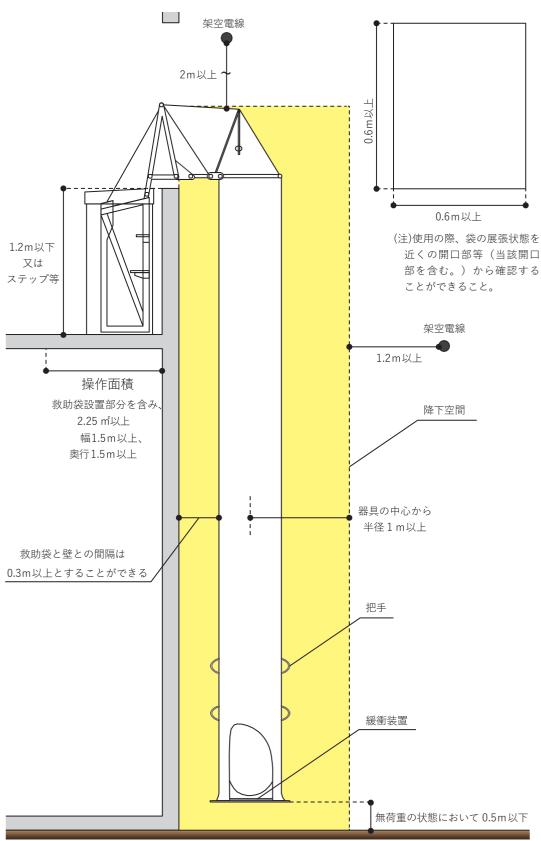


第 15-52 図

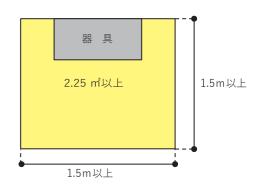


42



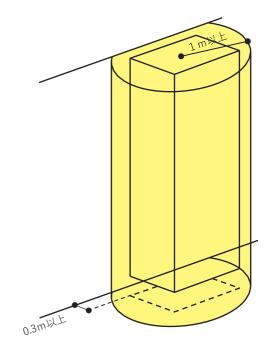


第 15-54 図

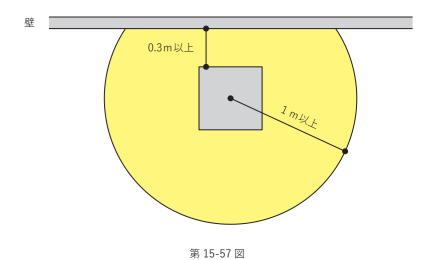


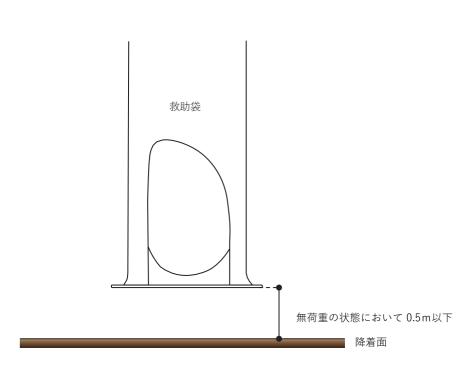
第 15-55 図

(降下空間)

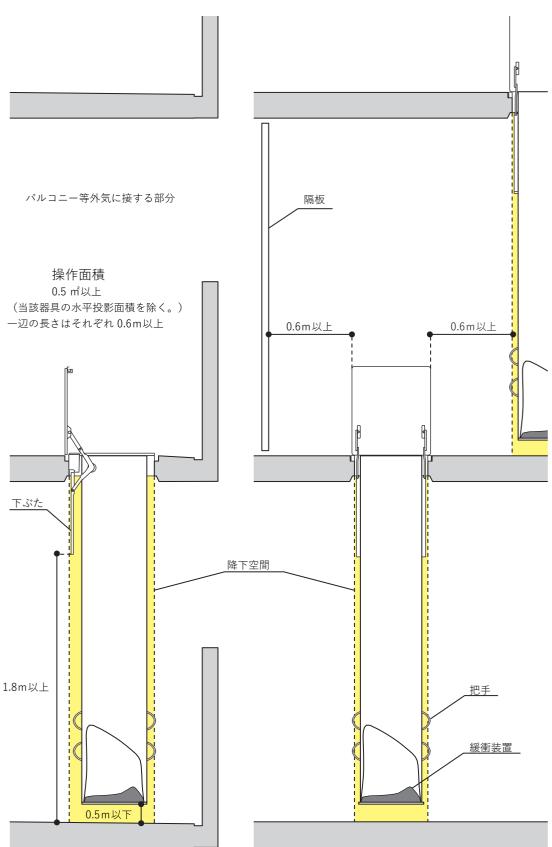


第 15-56 図

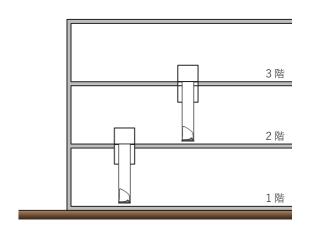




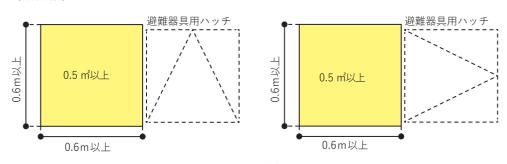
(避難器具用ハッチに格納した救助袋の設置例)



第 15-59 図



第 15-60 図



(注)避難袋の操作に支障がない位置に設ける。

第 15-61 図

